

令和 2 年 3 月 25 日（水）

J R 東日本発電取水総合対策市民協議会資料

建設部建設課 維持係

（報告事項）

前回の市民協議会（H31. 2. 27）以降、開催された協議会等について

（1）令和 2 年 1 月 31 日（金） 第 6 回西大滝ダム下流水環境調査検討会

- ・ 会 場 クロス 10 大ホール
- ・ 主な内容 令和元年度 西大滝ダム減水区分間モニタリング調査結果

（2）令和 2 年 1 月 31 日（金） 第 32 回信濃川中流域水環境改善検討協議会

- ・ 会 場 クロス 10 大ホール
- ・ 主な内容 令和元年度 宮中取水ダム減水区分間モニタリング調査結果

【説明 1】西大滝ダム減水区分間におけるモニタリング調査結果

- ・ 対象範囲 西大滝ダム下流域
(東京電力 信濃川発電所西大滝ダム～信濃川発電所放水口の間)
- ・ 西大滝ダムでは、河川維持流量として通年 $20\text{m}^3/\text{s}$ を放流

項目		調査内容
河川水温	①水温実測	(調査地点) 西大滝ダム魚道、百合居橋（栄村） (調査方法) 夏季高水温期（7/26～9/5）に、自動水温計測機により 10 分間隔で計測
魚類の生息及び遡上・降下	②生息・生育状況調査	(調査地点) 百合居橋（栄村） (調査方法) 瀬、淵等の分布状況から代表地点設定し、春季・夏季・秋季に投網、タモ網、定置網、刺し網、はえ縄、どうを用いて魚類を捕獲
	③サケ遡上調査	(調査地点) 西大滝ダム魚道 (調査方法) サケ遡上期（9/11～11/10）に、魚道にトラップを仕掛け、魚道を遡上するサケを捕獲

- ・ 令和元年度の調査結果 資料 1-1 参照

（裏面あり）

【説明 2】 宮中取水ダム減水区間におけるモニタリング調査結果

- ・対象範囲 宮中取水ダム下流域

(J R 東日本信濃川発電所 宮中取水ダムから小千谷発電所放水口)

- ・宮中取水ダムでは河川維持流量として通年 40 m³/s 以上を放流
- ・6月1日～11月10日の間は J R 東日本の自主放流として 60m³/s 程度を放流
- ・7月20日～9月10日の間の隔週日曜日に 80 m³/ s 程度を放流。また、魚道流入水温 25℃以上、日最高気温 31℃を2日連続で観測し、かつ翌日の十日町市の予想最高気温が 31℃を超える場合も 80 m³/ s 程度を放流する

項目		調査内容
河川水温	①水温実測	(調査地点) 宮中取水ダム(魚道)、十日町橋、栄橋、川井大橋(小千谷) (調査方法) 夏季高水温期(7/26～9/5)に、自動水温計測機により10分間隔で計測
魚類の生息及び遡上・降下	②生息・生育状況調査	(調査地点) 十日町橋 (調査方法) 調査地点の早瀬、平瀬、淵、ワンドに調査箇所を設定し、春季・夏季・秋季に投網、タモ網、定置網、刺し網、はえ縄を用いて魚類を捕獲
	③サケ遡上調査	(調査地点) 宮中取水ダム魚道 (調査方法) サケ遡上期(9/11～11/10)に、魚道にトラップを仕掛け、魚道を遡上するサケを捕獲

- ・令和元年度の調査結果 資料 1-2 参照